

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和7年度病虫害発生予察技術情報第8号について

病虫害発生予察技術情報第8号(トマトキバガ)を発表したので送付します。

侵入害虫であるトマトキバガのフェロモントラップへの誘殺数が、10月2半旬に急増しています。また、県内の複数のハウスでトマトへの被害が確認されているため、ほ場での発生に十分注意してください。

技術情報第8号

1 対象作物名：トマト、ミニトマト

2 病虫害名：トマトキバガ

3 発生状況

- (1) トマトキバガは、国内では令和3年10月に熊本県で初確認されたのを皮切りに、現在全国で発生が確認されている。

県内では令和4年3月にフェロモントラップをトマト及びナスほ場周辺13か所に設置したところ、同月に2か所で雄成虫が誘殺され、令和4年度中に13か所のうち12か所で誘殺が確認された。

- (2) 令和7年6～10月において、県内3か所のトマトほ場周辺に設置したトラップにおける誘殺数はいずれも前年同時期より多かった(図1)。

- (3) 令和7年5～9月において、県内の複数のハウスでトマトへの被害(葉及び果実の食害)が確認された。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 成虫は翅を閉じた状態で体長5～7mmと小型である(図2)。幼虫は、終齢で約8mm程度となり、体色は淡緑色～淡赤白色で、前胸の背面後縁に狭い黒色横帯を有する(図3)。

- (2) トマト葉への食害は、幼虫が緑色の部分を食べ、薄皮だけが広範囲に残り白変する(図4)。果実への食害は、食入により穴が生じる(図5)。

- (3) 国内で発生が確認された作物はトマト及びミニトマトのみであるが、海外では、ナス、タバコ、バレイショ、ホオズキ等のナス科作物やマメ科のインゲンマメも寄主植物として確認されている。

- (4) トマトキバガの発生が疑われる場合、農林業総合試験場病虫害部予察課または各地区の普及指導センターに連絡するとともに下記対策を行う。

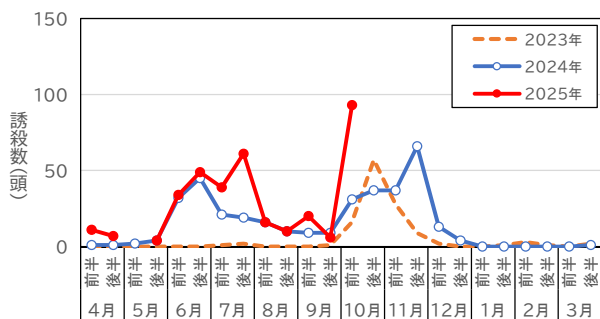
- (5) 被害葉及び被害果は、ほ場外への分散を防ぐため、速やかに薬剤防除を行った上で、ほ場内から持ち出すとともに、野外に放置せずに適切に処分する。

- (6) 薬剤防除にあたっては、登録農薬を使用し、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、IRAC コードが異なる薬

剤のローテーション散布を行う。

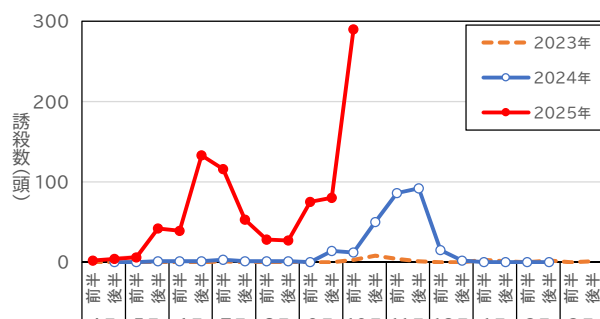
- (7) 今後の発生状況については、病害虫防除所ホームページのフェロモントラップ誘殺データを参照する。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/fukuoka-bouzyosyo-doukou.html#yasai>

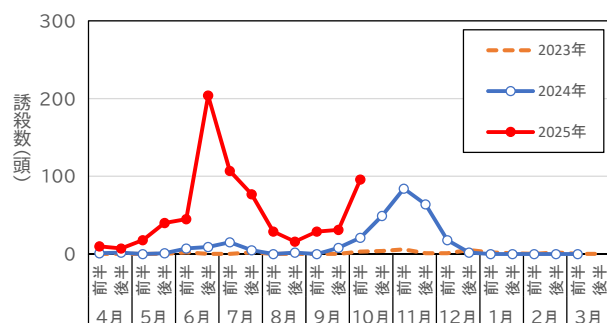


福岡市

※ 2025年5月前半の福岡市はトラップ不具合のため欠測



うきは市



筑後市

図1 フェロモントラップにおけるトマトキバガの誘殺成虫数推移

【写真提供：熊本県病害虫防除所】

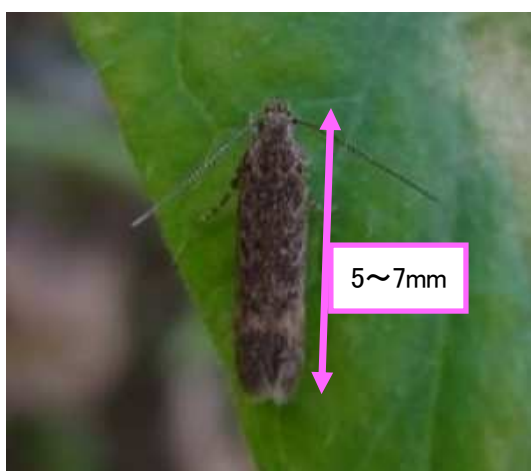


図2 トマトキバガ成虫



図3 トマトキバガ幼虫



図4 葉の食害痕



図5 果実の食害痕

○病害虫防除所のホームページでは、各種病害虫の発生状況を随時更新しています。

福岡県病害虫防除所のホームページへのアクセス

URL:<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/fukuoka-bouzyosyo.html>

または右QRコード①

①⇒



○X（旧Twitter）で定期情報や警報等発出のお知らせをしています。

Xの本アカウント（福岡県農作物病害虫情報）へのアクセス

URL：https://x.com/PPDPO_Fukuoka または右QRコード②

②⇒

